

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第3回会議

日時：令和7年12月17日（水）午後3時30分～午後4時30分
場所：ムトスぷらざ 3階 大会議室 A・B

次 第

1. 開会挨拶
2. WGにおける検討状況の報告
3. リニア駅周辺整備の工事状況等について
4. 質疑応答
5. 閉会挨拶

【配布資料】

- 次第
- 資料1 WGにおける検討状況の報告
- 資料2 リニア駅周辺整備の工事状況等について

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

第3回会議

資料1

2025年12月17日

株式会社NTTデータ経営研究所
社会・環境システム戦略コンサルティングユニット

目次

1. 検討経過について
2. 今後の進め方

目次

1. 検討経過について

2. 今後の進め方

1. 前回PF会議後の検討経過について | これまでの振り返り

ご意見交換後、管理・運営事業体組成に向けた取り組みとして、事業者・市民が意見交換をする場「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」を設立。飯田・リニア駅前広場にて実施できると良い/実施して欲しい事業・取組のアイデアや、アイデアの実現に向けて必要な施設・設備について意見交換を行った

キックオフフォーラム | 2024/10/31

- 令和6年10月31日「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム キックオフフォーラム」を開催
- 第1部：トークセッション
 - 佐藤市長含むパネリスト4名が駅前広場の活用やプラットフォームのあり方について、他地域の事例を踏まえながら理解を深めた
- 第2部：ワークショップ
 - 参加者が8つのグループに分かれて、リニア駅前広場に欲しい施設やサービス、一部供用段階で可能なことや試してみたいことなど、参加者が意見を交換した

第1回プラットフォーム会議 | 2024/11/25

- 令和6年11月25日「第1回プラットフォーム会議」を開催
- 前半：情報共有
 - 一部供用開始時点の周辺道路の整備情報の情報共有や、キックオフフォーラム ワークショップで創出されたアイデアの振り返りを実施
- 後半：ワークショップ
 - 飯田・リニア駅の工事によって分断される駅前広場をどう活用するかや、リニアが開業しない中での活用について、数多くのアイデアを頂戴した

第2回プラットフォーム会議 | 2025/03/27

- 令和7年3月27日「第2回プラットフォーム会議」を開催
- 前半：情報共有
 - プラットフォームの今後の進め方や、一部供用開始に向けた広場内のインフラ整備方針等を情報共有
- 後半：ワークショップ
 - 賑わい創出に向けた施設整備及び広場活用について議論を実施
 - 住民や事業者の立場から広場に必要施設・設備について検討いただくとともに、自らがどのように関わることができるか意見交換した

キックオフフォーラムの様子



第1回プラットフォーム会議の様子



第2回プラットフォーム会議の様子

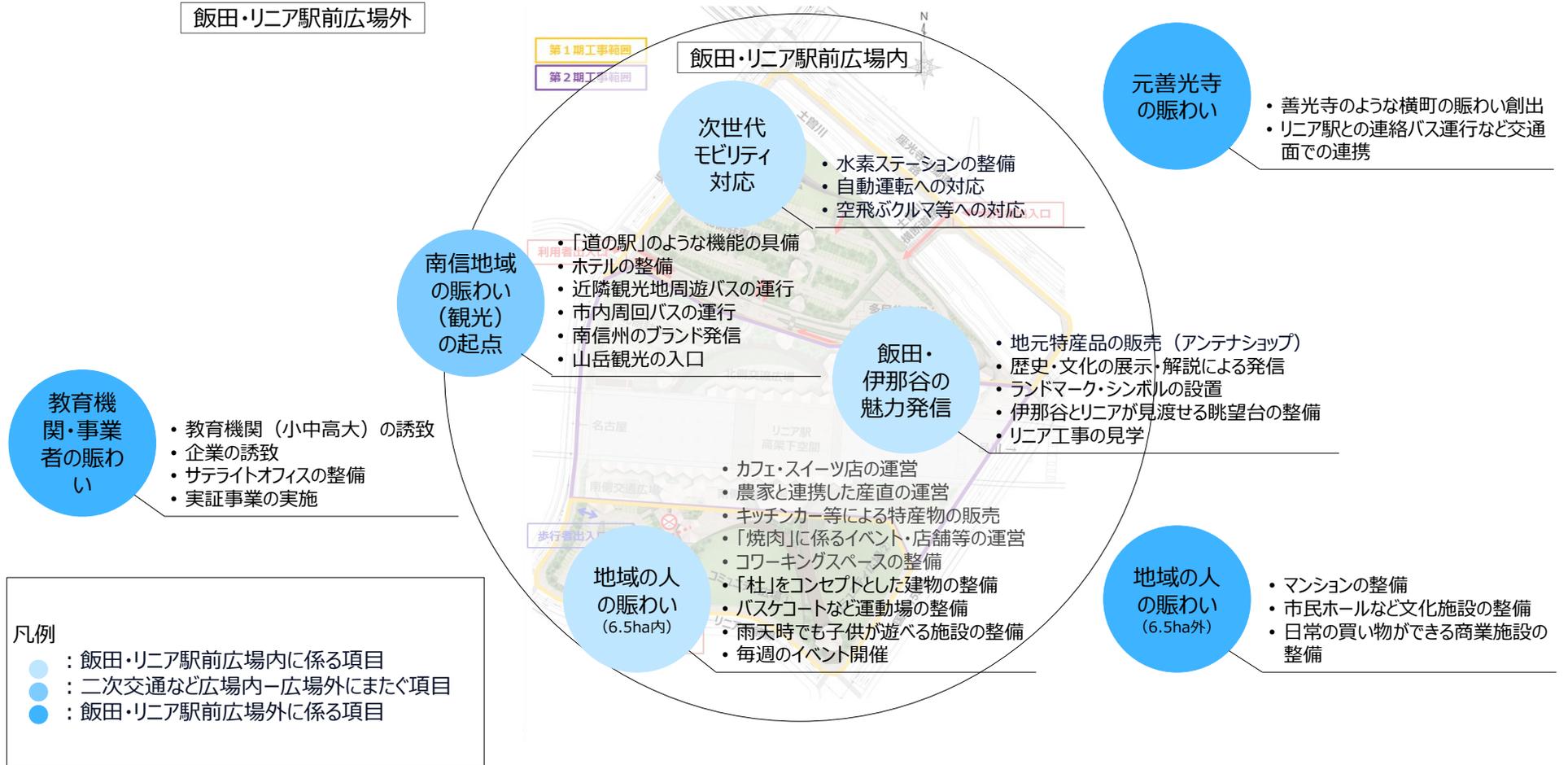


出典：飯田市HPより

1. 前回PF会議後の検討経過について

【参考】キックオフフォーラムで頂戴したアイデア | ソフトウェア（事業・取組）

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム キックオフフォーラムで寄せられたアイデア（抜粋）



【参考】第1回PF会議で頂戴したアイデア | ソフトウェア（事業・取組）

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第1回 会議で寄せられたアイデア（概要）

飯田・リニア駅前広場外

教育機関・事業者の賑わいの拠点

- 教育機関の賑わい
 - 教育機関（小中高大）の誘致
 - 実証事業の実施
- 事業者の賑わい
 - 企業の誘致
 - サテライトオフィスの整備

飯田・リニア駅前広場内

次世代モビリティの普及を見据えた駐車場の整備

- 駐車場の在り方（無料/有料）
- カーシェアの実施
- 次世代モビリティの活用
 - FCバス実証・自動運転への対応 など
- 次世代モビリティ向けインフラの整備
 - 水素ST・ソーラーカーポート
- 次世代モビリティの展示

元善光寺の賑わい創出に向けた整備

- 善光寺のような横町の賑わい創出
- 元善光寺との移動面での連携
 - 飯田・リニア駅との連絡バス運行など交通面での連携
 - 飯田・リニア駅—元善光寺の参道・道路整備

南信地域の賑わい(観光)の起点

- トランジットハブとしての「道の駅」の機能の具備
 - 近隣観光地周遊バス等の運行
 - 市内周回バスの運行
 - 飯田線との連携
- 南信州のブランド発信
- 山岳観光の入口
- ホテルの整備

飯田・伊那谷の賑わい創出

- 飯田・伊那谷ブランドの醸成・創造・発信
 - 地元特産品の販売（アンテナショップ）
 - 歴史・文化（人形劇等の民俗芸能含む）の展示・解説・実演による発信
 - 伊那谷とリニアが見渡せる眺望台の整備
- 飯田・伊那谷の地域活性化
 - 創業支援
 - 移住支援

リニア開通に向けた機運の醸成

- イベント（情報発信）
 - リニア工事の見学
 - リニア線路歩きツアー
 - リニアアンネルライブ
- リニアPR施設（博物館）
 - リニア車両の展示
 - 常駐ガイド
- 工事現場見学塔

賑わいを支えるグリーンテクノロジー

- 再生可能エネルギー
 - 太陽光発電
 - バイオマス発電
- 次世代エネルギー
 - 駅舎の電力供給等の水素の活用
- 水循環
 - 雨水・河川水による水循環システム実証

地域の人々の賑わい創出 (6.5ha外)

- 住環境（マンション等）の整備
- 市民ホールなど文化施設の整備
- 日常の買い物ができる商業施設の整備

地域の人々の賑わい創出 (6.5ha内)

- 豊富な飲食店による賑わい
 - カフェ(ex.スターバックス)の運営
 - キッチンカー等による特産物の販売
 - シールドスタンドの設置
- 充実した小売サービスによる賑わい
 - 農家と連携した産直(マルシェ)の運営
 - イオン等のショッピングモールとの連携
- イベント実施による賑わい
 - 焼肉フェス・キッチンカーフェス・防災フェス・巨大獅子舞 など

- 憩いの場の整備
 - 雨天時でも子供が遊べる施設の整備
 - 「社」をコンセプトとした建物の整備
 - コワーキングスペースの整備
- 全天候型イベントスペース
- 子どもたちが様々な「遊び」ができる広場の整備
 - バスケットコート・ジョギングコース など
- 防災施設・避難施設としての側面の整備
- イルミネーション・プロジェクションマッピングの実施

凡例

- : 飯田・リニア駅前広場内に係る項目
- : 二次交通など広場内—広場外にまたぐ項目
- : 飯田・リニア駅前広場外に係る項目

1. 前回PF会議後の検討経過について

【参考】第2回PF会議で頂戴したアイデア | ハードウェア (施設・設備)

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム 第2回 会議で寄せられたアイデアの概要 (ハードウェアに関する事項を抜粋)

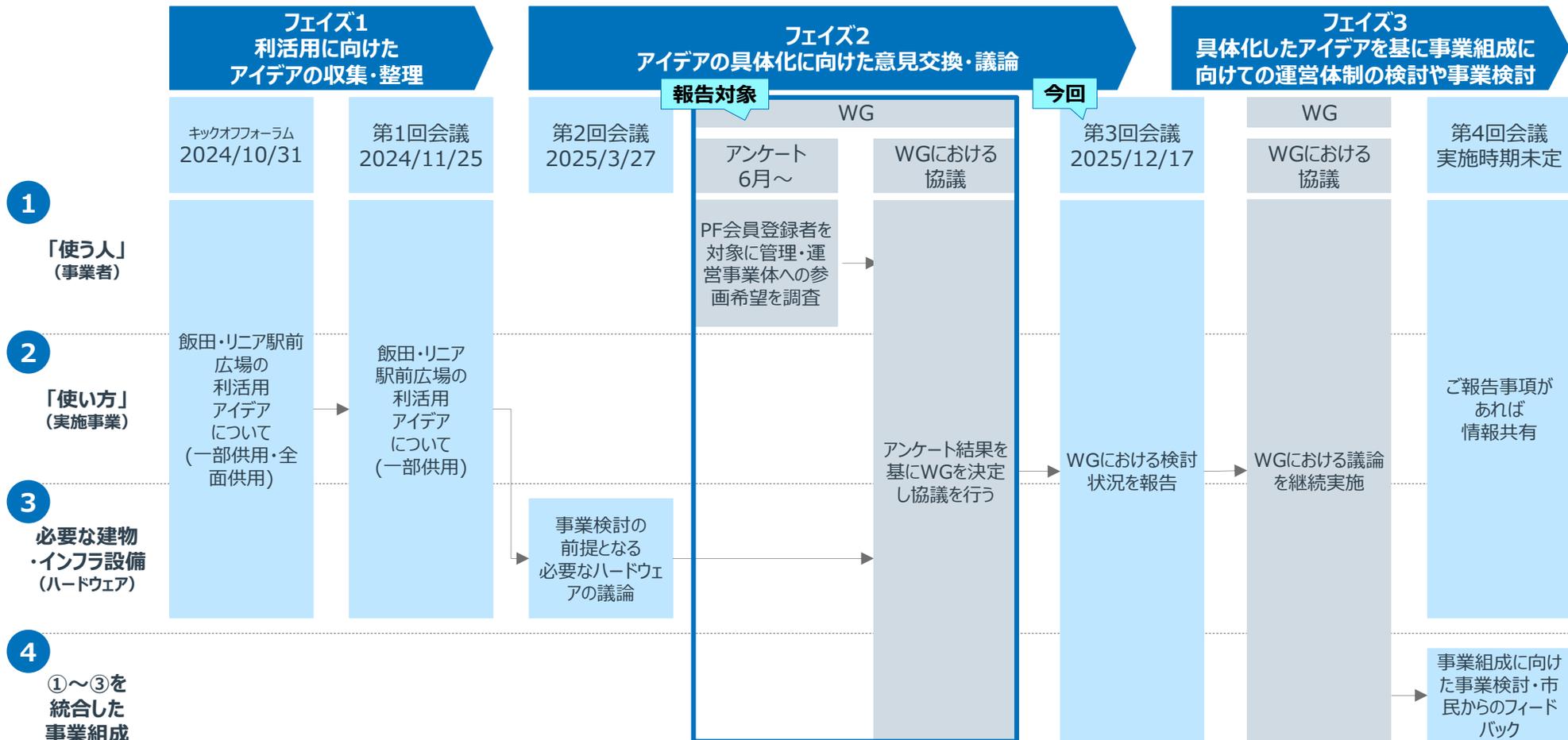


注：飯田・リニア駅前空間内を対象としているため、飯田・リニア駅前空間外に関する事項は整理の対象外。また、電気・ガス・水道・通信といった基本的なインフラについては本資料では掲載していない

1. 前回PF会議後の検討経過について | プラットフォームの進め方について

2025年度中に「基本計画」を策定することを目的に、①使う人、②使い方、③使う人・使い方から導かれる必要な建物・設備をそれぞれ具体化すべく、本年度は管理・運営事業者への参画を希望するプラットフォーム会員間の協議（WG）を実施しているので、本日は協議の経過をご報告する

「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」の進め方※



※進め方はあくまでも想定のため状況に応じて適宜変更する可能性がある

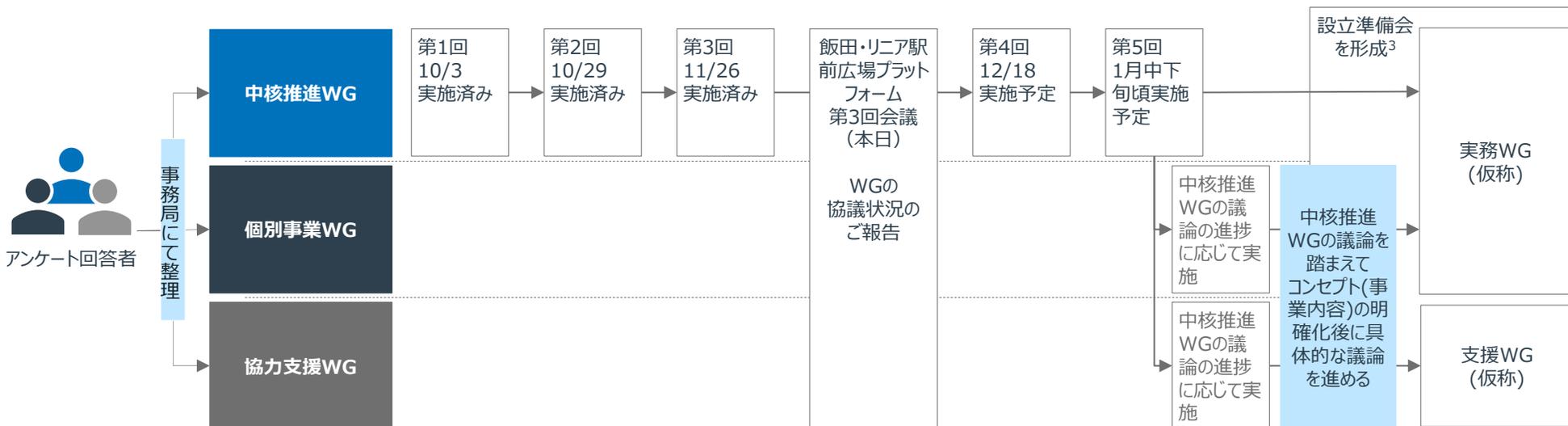
1. 前回PF会議後の検討経過について | 協議の場 (WG) の進め方

WGは、PF会員に対するアンケート結果に基づき発足。管理・運営事業体のコンセプト(理念・基本方針含む)の整理および管理・運営事業体の形態の明確化と、各事業者の管理・運営事業体参画に向けた議論は段階を分けて進めている

R7年度

～R8年度末

WG発足前 アンケート	WG発足 WG発足に関する説明会	WG発足後 協議 (対面・Web)	設立準備会 事業体組成に向けた検討
6/23～7/4	9/8	10月上旬～	R8年1月～3月
<ul style="list-style-type: none"> ● PF会員に対して現時点の希望を確認¹ ● アンケートに記載の内容を基に参加するWGを整理した 	<ul style="list-style-type: none"> ● PF会員を対象としたWG発足に関する説明会を実施。説明会をもってWGを発足² 	<ul style="list-style-type: none"> ● WGを踏まえて決定、もしくは固めたい内容(協議のゴール)は、以下3点を想定している <ol style="list-style-type: none"> ① 代表・共同事業者の顔ぶれの明確化 ② 理念・基本方針・機能や、事業の方向性の整理 ③ 管理・運営事業体の形態(株式会社,コンソーシアム等)に係る合意 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施事業の確定・資本金の調整・事業計画書の作成・法人格の登記(株式会社の場合)等は、設立準備会形成後の2026～2027年度にかけて具体化していく



1: アンケート後にPFに加入した者はアンケートを追加実施する
 2: WGの協議の状況に応じて、各WGに参加する事業者を追加することもある
 3: 覚書・協定書等の締結をもって形成することを想定している

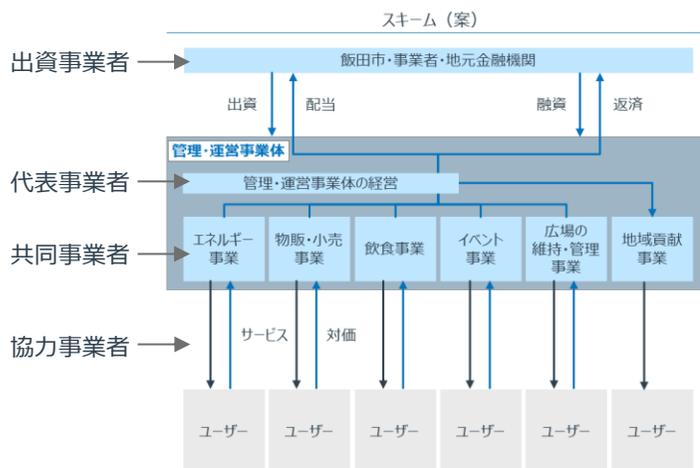
1. 前回PF会議後の検討経過について | アンケート結果の共有

6/23~7/4にPF会員を対象とした現時点における管理・運営事業体への参画希望を確認するアンケートを実施したところ、26件¹の回答があった

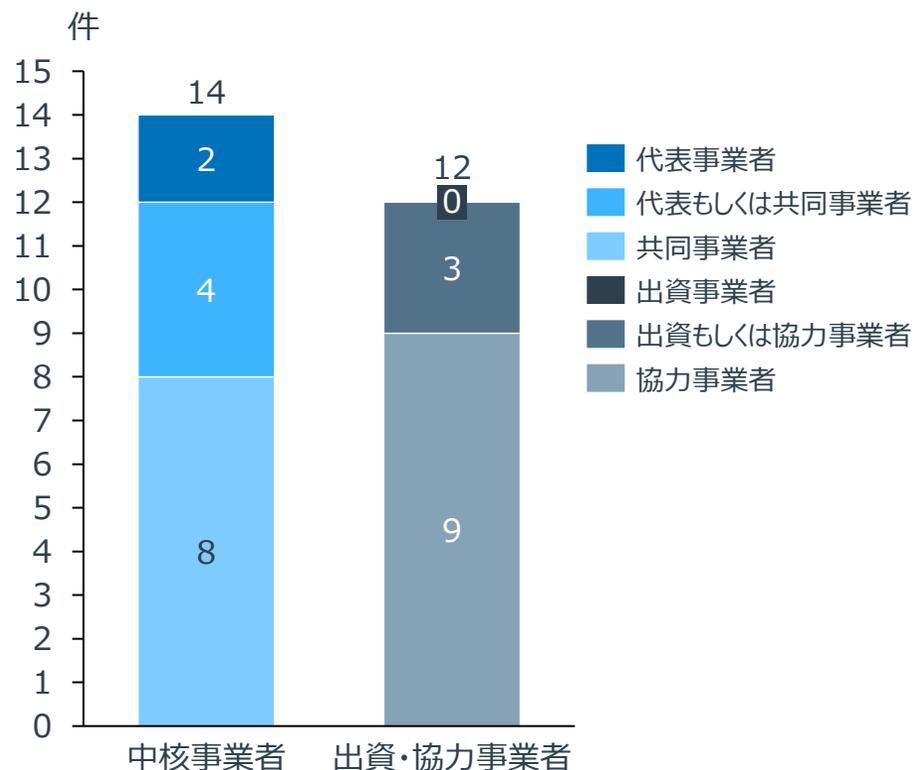
管理・運営事業体の実施体制案における参画希望の主体

主体	概要
出資事業者	● 管理・運営事業体に出資、もしくは融資を行う企業
中核事業者	● 管理・運営事業体の出資及び経営を担う企業
代表事業者	● 管理・運営事業体の出資及び個別事業の行う企業
共同事業者	● 管理・運営事業体の経営・出資に関与せず、管理・運営事業体と協業する企業
協力事業者	

管理・運営事業体の実施体制 (例)



アンケート結果 (2025/12/9時点)²



- 6/23~7/4のアンケート期間後にプラットフォーム会員に登録し参画希望に追加回答した3件を含むため、以前PF会員の皆様に対してメールでご報告した件数よりも増加している
- アンケート回答後、事務局が回答を確認し適切なWGにご参加いただくフローのためアンケート回答とWG参加のタイミングにズレがあるため、アンケート回答数とWG参加者数が整合しない場合がある

1. 前回PF会議後の検討経過について | 各WGの概要

アンケート結果を踏まえて、管理・運営事業体の組成に向けて、管理・運営事業体への参画を希望するプラットフォーム会員間で、希望・参画イメージなどをもとにしたWGを設置して協議を実施している

協議の場(WG)の概要

- 管理・運営事業体の組成に向けて、管理・運営事業体への参画を希望するプラットフォーム会員間で協議を実施する

協議の場(WG)の概要

位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理・運営事業体への参画を希望する事業者等*1によって構成される、特に飯田・リニア駅内での管理・運営事業体の設立・運営を中心に議論するプラットフォームに内包された組織 ● 分類別に複数WGは設置される
条件	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート(2025年6月)にて、現時点で管理・運営事業体への参画・協力希望を有していることを示す
開催方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 飯田市内外の事業者等*1が参加する可能性を踏まえてWeb会議 (Teams等) を用いて、2025年7月下旬～9月中旬程度までに2～3回/WG別 程度の開催を想定している ● 日程調整は事務局にてメールなどで行う
議論対象	<ul style="list-style-type: none"> ● リニア開業を見据えつつ目前に迫った一部供用開始時点の管理・運営事業体の設立・運営に関わる組織構造(出資比率など)や、管理・運営事業体を実施する事業、飯田市含む各ステークホルダーの関与の在り方等を中心とする
進行方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 現時点の想定では座長は設けず、事務局より各WGにファシリテーターを派遣のうえ協議を実施する

*1 : WGの参加者は事業者だけでなく、飯田市や、地域イベントを企画する市民等も含まれる他、オブザーバーとして長野県等の他行政機関の参加もありうる

設置するWGの種類

- アンケート(2025年6月)にて示された現時点の希望や参画イメージを踏まえて、3種類のWGに参加希望者を振り分けて議論を実施している

WG名称	概要
中核推進WG (6者)	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業の方向性や全体経営に関与し、事業を牽引する管理・運営事業体の経営を担う候補のメンバーを集めたWG
個別事業WG (8者)	<ul style="list-style-type: none"> ● 自身の強みを活かし、管理・運営事業体を実施する個別事業の企画・運営を担う実働候補のメンバーを集めたWG ※個人事業主や地域住民も参加可
協力支援WG (12者)	<ul style="list-style-type: none"> ● 出資・商品提供・情報連携などを通じて、周辺から管理・運営事業体の事業を支援する応援候補のメンバーを集めたWG

※ アンケート回答後、事務局が回答を確認し適切なWGにご参加いただくフローのためアンケート回答とWG参加のタイミングにズレがあるため、アンケート回答数とWG参加者数が整合しない場合がある

1. 前回PF会議後の検討経過について | 中核推進WGの議論状況

管理・運営事業体のコンセプト(理念・基本方針,事業内容等)を明確化するべく、まず中核推進WGにて議論を実施している

中核推進WGの議論状況 (アジェンダ)

第1回 10/3	第2回 10/29	第3回 11/26	第4回 12/18	第5回 1月中下旬頃
<ol style="list-style-type: none"> 1. PFの経過及びアイデアの振り返り 2. WGの進め方の説明 3. 管理・運営事業体組成に向けた基本的な考え方及び理念・基本方針(案)の共有 4. 理念・基本方針に沿った実施事業・取組に関するアイデア・事例紹介 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回中核推進WGの振り返り 2. 管理・運営事業体の基本的な考え方及び理念・基本方針(案)の精査 3. 実施事業・取組に関するアイデア・事例紹介に係る協議 4. 事業体内での役割分担・実施体制に関する議論 5. 今後の中核推進WGの進め方について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第2回中核推進WGの振り返り 2. 管理・運営事業体の理念・基本方針(仮)の精査について 3. 事業コンセプト・アイデアについて 4. 一部供用時の利活用について 5. 時間軸を加味した周辺との連携方針について 6. 今後の中核推進WGの進め方について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3回中核推進WGの振り返り 2. 管理・運営事業体の理念・基本方針(仮)の修正について 3. 事業コンセプト・アイデアについて 4. 一部供用時の利活用について 5. 時間軸を加味した周辺との連携方針について 6. 今後の進め方について 	議題未定

管理・運営事業体の理念・基本方針(仮)について	議論の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 中核推進WGでは実施事業ありきではなく、まず管理・運営事業体の経営方針、実施事業・取組のベースとなる考え方である理念・基本方針から事業者・飯田市で議論を実施して仮案（次頁）として整理している。 <ul style="list-style-type: none"> - あくまでも現時点の仮案であり今後追加の修正・変更する可能性がある
	WGでの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 理念的な視点で管理運営事業体の運営における考え方の基軸としていくべきもの。 ● 「信州・伊那谷らしさ」「賑わいの創出」「地域のブランド価値向上」「可変性」「地域経済循環」がキーワードとなる。 ● 開業前は地域住民の賑わいや憩いの場として、開業後はリニア利用者を含めた賑わい創出を目指す。 ● 景観への配慮、グリーンインフラや再生可能エネルギーの利活用などを通じ、環境への配慮、自然との共生を図る。 ● 地場産品や伝統芸能等の地域文化を活かす。 ● 身近な「日本初・世界初」を再発見するとともに、先進的・独創的な取組を積極的に進めてその実現を目指す。

次頁にて仮案をご説明

1. 前回PF会議後の検討経過について | 【参考】管理・運営事業体の理念・基本方針(仮)

ご参考までに現在中核推進WGにて議論を重ねている管理・運営事業体の理念・基本方針の現時点仮案をお示しさせていただきます

※ 並行して実施事業・取組等も議論している

大切にしていきたい視点

飯田・リニア駅前空間デザインノートの考え方

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口
整備コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能的コンパクトな駅空間－高度なトランジットハブの形成によりスムーズな乗換えを実現 ● 自然との調和を目指した駅空間－豊かな自然環境に配慮し環境モデル都市飯田を実現
設計方針	<ul style="list-style-type: none"> ● アクセスやバリアフリーに優れた駅前空間 ● 人のつながりと伊那谷全域へといざなう駅前空間 ● 住民や来訪者の居場所となる駅前空間 ● 時代を先取りし、変化に対応できる駅前空間 ● 伊那谷の風景の魅力を引出す駅前空間
リニア駅前空間の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ● “結いの広場” <ul style="list-style-type: none"> - 時を結う、風景を結う、暮らしを結う、人を結う、地域を結う <p><small>結いの広場～リニア駅前空間デザインの考え方～ (飯田・リニア駅前空間デザインノートより) ①「時を結ぶ」：地域の歴史や文化、生活を繋ぎ合わせる。駅を起点としたまちの発展につながる。②「風景を結ぶ」：自然環境や景観を大切にし、駅周辺を魅力的な空間にする。③「暮らしを結ぶ」：住民や来訪者の生活や活動を支える。④「人を結ぶ」：多様な人々の交流を促す。⑤「地域を結ぶ」：地域間の連携や協力を促進する。</small></p>

プラットフォームで大切にしている3つの視点と、プラットフォームでお寄せいただいた思い・アイデア

- ① 駅前広場の賑わいの創出
- ② 地域経済の好循環
- ③ まち全体を見る中で駅前広場が持つべき機能

飯田・リニア駅前広場を核としてまちの付加価値が上っていくという視点

出典：飯田市「飯田・リニア駅前空間デザインノート2024」より

管理・運営事業体の理念・基本方針(仮)

理念 Vision	<ul style="list-style-type: none"> ● 飯田・リニア駅を核としたひと・まちの賑わいの創出と波及 ● 信州・伊那谷らしさの体現による地域のブランド価値向上 ● 可変性と地域経済循環への配慮
賑わいと憩いの創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 開業前は信州を中心としたひとびとの賑わい・憩いの場を形成し開業後はリニア利用者を含めた賑わい・憩いを創出する ● 開業前からインバウンド等の県外からの来訪を意識した仕組みづくりを進める
持続可能性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業の経済的な持続可能性を追求するだけでなく、得た収益を地域（住民・企業）に還元する施策に活用することで、社会的な持続可能性を維持する
自然との調和	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観への配慮、グリーンインフラや再生可能エネルギーの利活用などを通じ、環境への配慮・自然との共生を図る
文化と先進性の融合	<ul style="list-style-type: none"> ● 地場産品・伝統芸能等の地域文化を活かし、身近な「日本初・世界初(No.1)」を再発見するとともに、先進的・独創的な取組を積極的に進めてその実現を目指す
共創・協調	<ul style="list-style-type: none"> ● まち全体を見る中で飯田・リニア駅が持つべき機能を考え、駅前広場周辺の既存事業と共創・協調する関係を構築を目指す
地域資源の最大活用・波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 飯田、信州・伊那谷さらには長野に有する資源を効果的に活用し、広域的な波及効果の創出を目指す

理念：長期的な視点で変えずに守っていくべきもの

基本方針：管理・運営事業体を取り巻く環境の変化に応じて中期的に見直すもの。項目間に優先順位は無い

目次

1. 検討経過について

2. 今後の進め方

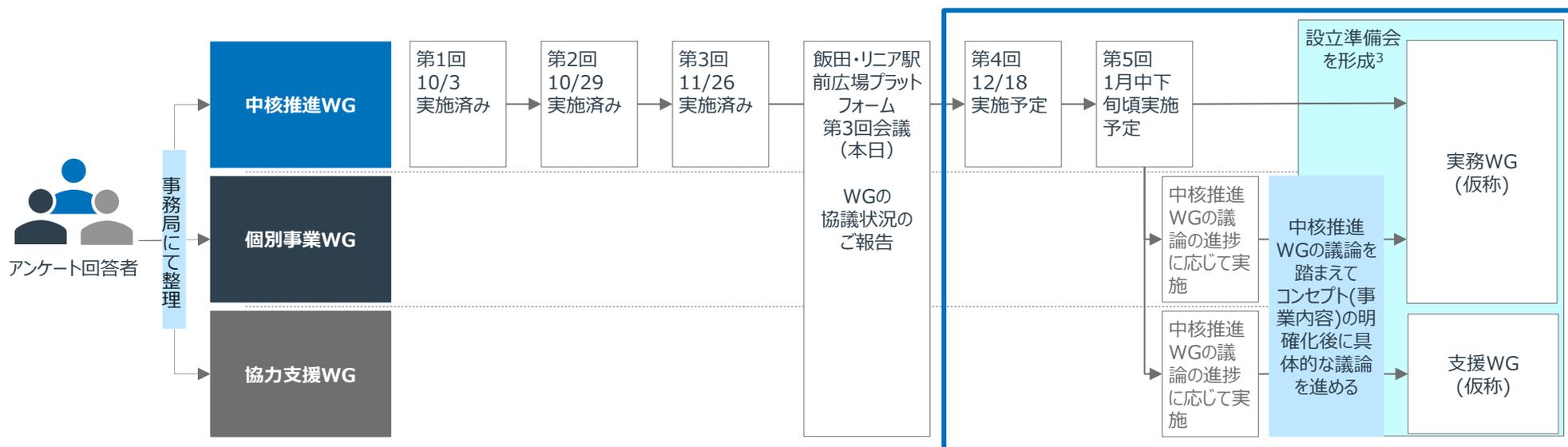
2. 今後の進め方

本年度中に管理・運営事業体のメンバー候補を集めた設立準備会を形成すべく各WGにて議論を継続しながら、PF会議を実施させていただきたい

R7年度

～R8年度末

WG発足前 アンケート	WG発足 WG発足に関する説明会	WG発足後 協議 (対面・Web)	設立準備会 事業体組成に向けた検討
6/23～7/4 <ul style="list-style-type: none"> ● PF会員に対して現時点の希望を確認¹ ● アンケートに記載の内容を基に参加するWGを整理した 	9/8 <ul style="list-style-type: none"> ● PF会員を対象としたWG発足に関する説明会を実施。説明会をもってWGを発足² 	10月上旬～ <ul style="list-style-type: none"> ● WGを踏まえて決定、もしくは固めたい内容(協議のゴール)は、以下3点を想定している <ol style="list-style-type: none"> ① 代表・共同事業者の顔ぶれの明確化 ② 理念・基本方針・機能や、事業の方向性の整理 ③ 管理・運営事業体の形態(株式会社,コンソーシアム等)に係る合意 	R8年1月～3月 <ul style="list-style-type: none"> ● 実施事業の確定・資本金の調整・事業計画書の作成・法人格の登記(株式会社の場合)等は、設立準備会形成後の2026～2027年度にかけて具体化していく

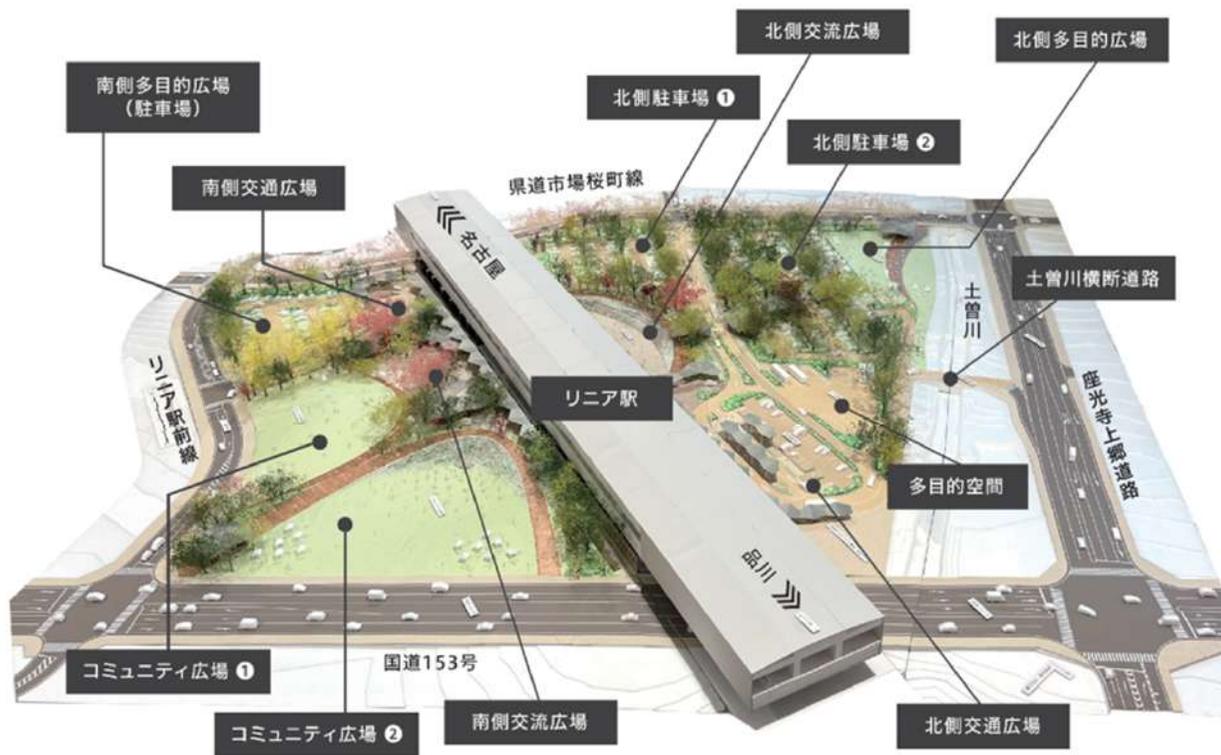


- 1: アンケート後にPFに加入した者はアンケートを追加実施する
- 2: WGの協議の状況に応じて、各WGに参加する事業者を追加することもありうる
- 3: 覚書・協定書等の締結をもって形成することを想定している



Lighting the way
to a brighter society

リニア駅周辺整備の 工事状況等について



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

リニア駅周辺整備関連工事の進捗状況について



リニア駅前広場交流施設(仮称)の建設について

1 建設に向けた経過

- ・駅前広場の維持管理、運営を担う管理事務所はリニア本線高架下に整備する想定であったが、令和6年度にリニア駅部工区の工期延期により高架下空間の整備に着手することが困難になった。
- ・駅前広場整備については、令和5年度から国の交付金事業として事業着手しており、整備可能な区域は整備を進め、開業前から広場を活用していくことで、駅前広場の賑わい創出やリニア開業に向けた機運を醸成することを目的に、令和10年度から一部供用を開始する方針とした。
- ・一部供用に向けて、コミュニティ活動や賑わい創出、リニアに関する情報発信に寄与する機能を設けた施設として、令和7年度から基本設計に着手している。

2 整備の目的

- ・飯田・リニア駅前空間デザインノートにある「地域と一体化した駅空間」の実現
- ・地域住民が日常的に集い、コミュニティの絆を高める場
- ・駅前広場への来訪者と地域住民との交流促進
- ・災害時には地域住民等の一時的な避難に対応
- ・駅前広場において実施する事業の企画運営や広場の維持管理

3 施設の機能

- ・イベントをはじめとする様々な用途で市民が利用できる多目的スペースとしての機能
- ・地域住民が日常的に集えるコミュニティ活動の拠点としての機能
- ・駅前広場の利用者のトイレ、ベビールームなど公共的な機能
- ・駅前広場との一体的な活用による防災拠点としての機能
- ・駅前広場の運営・管理を担うための管理事務所としての機能

4 建設場所

駅前広場南側の敷地内

5 交流施設の概要

(1) 施設概要

多目的ホール、クッキングスタジオ、エントランス兼ギャラリー、ベビールーム、管理事務所、トイレ、倉庫（兼防災倉庫）など

(2) 事業費

基本設計完了後に算定予定

6 整備時期

令和10年度の一部供用開始の時期に合わせて整備を進める予定

7 今後の予定

令和8年3月	基本設計
令和8年度	実施設計
令和9年度	建設工事
令和10年度	駅前広場の一部供用に合わせて施設を供用

